

<b>授業科目名</b>	家庭科指導法(2100247)		
<b>時間割名</b>	家庭科指導法(12112)		
<b>時間割担当</b>	西江なお子		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 必修
<b>曜日・時限</b>	月・2		

### 授業の目標・概要

家庭科はどのような教科なのか、歴史と現在、教育目的と内容について概説し、授業の流れを構成する方法、評価等を学んだ後、指導案を書き、模擬授業を行い、相互評価をする。具体的には、現代社会において必要とされる生活に関わる理論と実践のテーマは、家族など身近な人間関係におけるコミュニケーション能力と家庭生活を大切にする心情、生活に関する科学的な知識と食育を踏まえた簡単な家事能力、衣や住などの身近な問題から地球環境への配慮などに集約される。

### 学習の到達目標

- ・家庭科教育の本質が理解でき、目標、内容など家庭科の教科論について説明できる。
- ・家庭科を指導するための学習指導法や評価について、基本概念を使用して説明できる。
- ・家庭科に対する興味・関心をもち、家庭科に対する指導を工夫し、指導しようとする意欲的な指導観を獲得できる。

### 授業方法・形式

- 1.それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。
- 2.必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

### 授業計画

- 第1回 家庭科教育の意義と役割
- ・家庭科教育と家庭教育の類似点や相違点は何か。
  - ・家庭科の教育的特質とは何か。
- 第2回 家庭科教育の目標・内容
- ・家庭科の目標は何か。
  - ・家庭科の学習内容にはどのような事項があるか。
- 第3回 家庭科教育の歴史
- ・戦後の家庭科教育と戦前の家庭科教育との類似点や相違点は何か。
- 第4回 家庭科の指導法
- ・学習指導の原理と家庭科指導の実際を具体的に関連づけて説明する。
- 第5回 家庭科の評価
- ・家庭科の評価の4観点についてまとめる。
- 第6回 家庭生活と家族
- ・自分の成長と家族、家庭生活と仕事について、具体的にどのように工夫して指導するか。
- 第7回 食生活
- ・食事の大切さの指導と栄養を考えた食事計画の指導をどうしたらよいか。
- 第8回 調理の基礎
- ・基本的な調理操作とは何か、調理の基礎について指導をどうしたらよいか。
- 第9回 衣生活
- ・衣生活の歴史、衣服の着用目的、被服の手入れ、洗剤の働きと汚れの落ちる様子などについて
- 第10回 生活に役立つ物の製作
- ・被服製作用具の種類と安全な取り扱い方、手縫いの基礎などについて
- 第11回 住生活
- ・住居の機能、安全な・快適な住まい方、住居の管理とこれからの住生活について
- 第12回 消費と環境
- ・今日の子どもをめぐる消費者問題、循環型社会と消費生活の関係について
- 第13回 家庭科の指導計画(1)(5年生)
- ・実際に指導計画を立て、模擬授業を行う。
- 第14回 家庭科の指導計画(2)(6年生)
- ・実際に指導計画を立て、模擬授業を行う。
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく(30%)。さらに、学習記録ノート(学生作成)の緻密さなどを評価する(30%)。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する(40%)。

### 準備学習・復習及び授

- ・「小学校学習指導要領解説 家庭科編」の内容を熟読し、学習指導案作成及び模擬授業観察後の代案作成の際に活用する。
- ・課題について教科書や資料等で調べ解決し、ワークシートなど指定された形式でまとめて提出する。

### 履修上のアドバイス及

小学校家庭科の学習内容を理解し、児童の実践力育成を図るための授業について考えるとともに、常に「家庭生活」について自分事として捉え、授業に臨みましょう。

## 教材・教科書

「私たちの家庭科5・6」（開隆堂）

「小学校学習指導要領解説 家庭編（平成29年3月31日改訂版）」（文部科学省）

## 参考書

参考書：授業中に指示する